

川下地区まちづくりニュース

特集
美化ウォーキング

美化ウォーキングの成果を報告します！

昨年引き続き、第2回目の美化ウォーキングを4ブロックに分けて実施しました。また、11月30日（日）に成果報告会を開催し、美化ウォーキングの結果を『安全点検』と『地域のお宝探し』に分けて発表しました。

次項の写真のように、通行注意箇所或いは、美しい桜並木や学童も押んで通る小さな地藏堂、基地の近くの赤井手に泳いでいる多くの鯉等お宝を多数発見しました。全部掲載できず残念ですがご覧ください。

『意外と知らない川下』を発見できるかもしれませんよ！



▲成果報告の様子

お宝発見しました♪

通学路安全チェック◎



▲川下小 福岡校長感想発表の様子

まちづくり勉強会

～他地区の事例を勉強しました～

○ 東京墨田区一寺言問地区の防災から始まるまちづくり

■ 状況と課題

- ◇ 狭い道路、入り組んだ路地、小規模な住宅密集
⇒ 災害時の避難に支障あり
- ◇ 若い世帯が流出し、高齢化が進行
⇒ 活気のない商店街

■ 取り組み

1. 一言会（一寺言問を防災のまちにする会）発足
 2. 路地尊を整備
 3. 道路と歩道の整備
- 区と協働

● 「路地尊」とは・・・「路地をきれいに」と「防災まちづくり」を目的に設置される清掃用具、防災用具、雨水貯水槽などを備えた防災施設。

※ 他に神戸市真野地区（住環境の改善を目指したまちづくり）、国分寺市高木地区（生垣づくりからはじまるまちづくり）の事例が紹介されました。

【勉強会を終えて】

和田さん

それぞれの地区を地図や写真で説明され、まちづくりを続けている各地区の方々の努力には頭が下がります。ひるがえって見れば、あまりにも過去にしばられ、川下地区の子供達の将来が見えないような気がして残念でなりません。勉強会でこの力オス状態から一歩でも二歩でも抜け出し、まちづくりを前進させるためのアイデアとエネルギーを頂きました。

嶋田さん

部分的な道路整備と、心のより所「地藏尊」を模した防災のより所「路地尊」の設置。住民の提案による地域に溶け込んだ防災整備だからこそ（いざ）という時に役立ち、住民の命を救ってくれるのだらうと思いました。

成果報告会に参加して（感想シートより）

生活に密着したウォーキング(内容)后の2先生方、児童
 父兄の方を新しく参加して頂き、昨年より進歩が
 あったのではないかと思います。
 今後、地域住民の参加が何れと濃い内容のウォ
 ーキングが出来ると思うので、新しい方の参加が増
 えを望みます。
 自治会、地区住民の個々の意見を出し合える方法
 と実施方法、もつと興味が増える協力する気持も
 生かすのがいいのかなと、住民の中へ入ってゆく事の
 難しさを感じましたか？

みんなのまちはみんなで作る川下まちづくり

子供達が朝の通学時や、下校後の遊びの
 時に、色々な危険な場所を通る事に改めて
 驚きました。
 今の道は、歩道の有無に変わる事は不可能ですが
 個々の問題を住民が意見をだし合って解決に
 行く方法は見つかるのではないかと、どうかが
 今後、まちづくり協議会の活動が、具体的な
 結果を出せるよう継続できるといいと思
 います。

2班

木村先生（川下小学校）

今回主に川下町から車町地域の登下校路を確認して歩きました。改めて感じたことは、道が狭い、歩道が確立されていないということです。また、実際に歩いて見ることによって危険箇所を再確認することが出来ました。

今回の美化ウォーキングで一番心に残ったことは、参加されている皆さんの意識の高さです。通学路確認の班の方も、史跡を発見していく班の方も非常に熱心に活動されていました。その姿を見て本当に頭が下がりました。この美化ウォーキングをこれからもずっと続けられ、この意識を他の人に1人でも多く伝え、参加者がもっともっと増えていくと素晴らしいなと思いました。

3班

岡本さん親子（大藪第3自治会）

美化ウォーキングがありました。

私は、お母さんと一緒に参加しました。

中津供用会館に行く途中、伊勢先生に出会いました。供用会館に着くと、貞広君や國村先生や他にもたくさんの方が来ていました。

私は、通学路の安全点検をする班で回りました。火ばさみとビニール袋を持って、ゴミを拾いながら美化ウォーキングを行いました。

道路には、ティッシュ、空き缶、びんなどが落ちていました。1番多かったゴミは、たばこでした。思った以上にゴミが多かったので、残念でした。

私は、どんな人でも、道路にゴミを捨ててはいけません。今日だけでなく、これからも毎日が美化ウォーキングだと思って、私が住んでいる川下の町をきれいにしたいと思います。

みなさんも一緒に活動しませんか！

川下地区まちづくり協議会では、一緒に次の活動をするグループのメンバーを募集しています。

《調査研究部会のワーキンググループのご案内》

通学路なおし隊：通学路安全点検マップも参考にしながら、通学路の改善を目指します。

公園ガーデニング隊：清掃とガーデニングを中心活動とし、公園が「いきい場所」として気持ちよく使われること目指します。

にぎわいワーキング：にぎわいづくりに関して調査・研究し、地域に親しまれるにぎわいのある街をつくることを目指します

ご興味のある方は、お気軽に下記までご連絡ください。

《連絡先》事務局：岩国市都市計画課まちづくり推進室

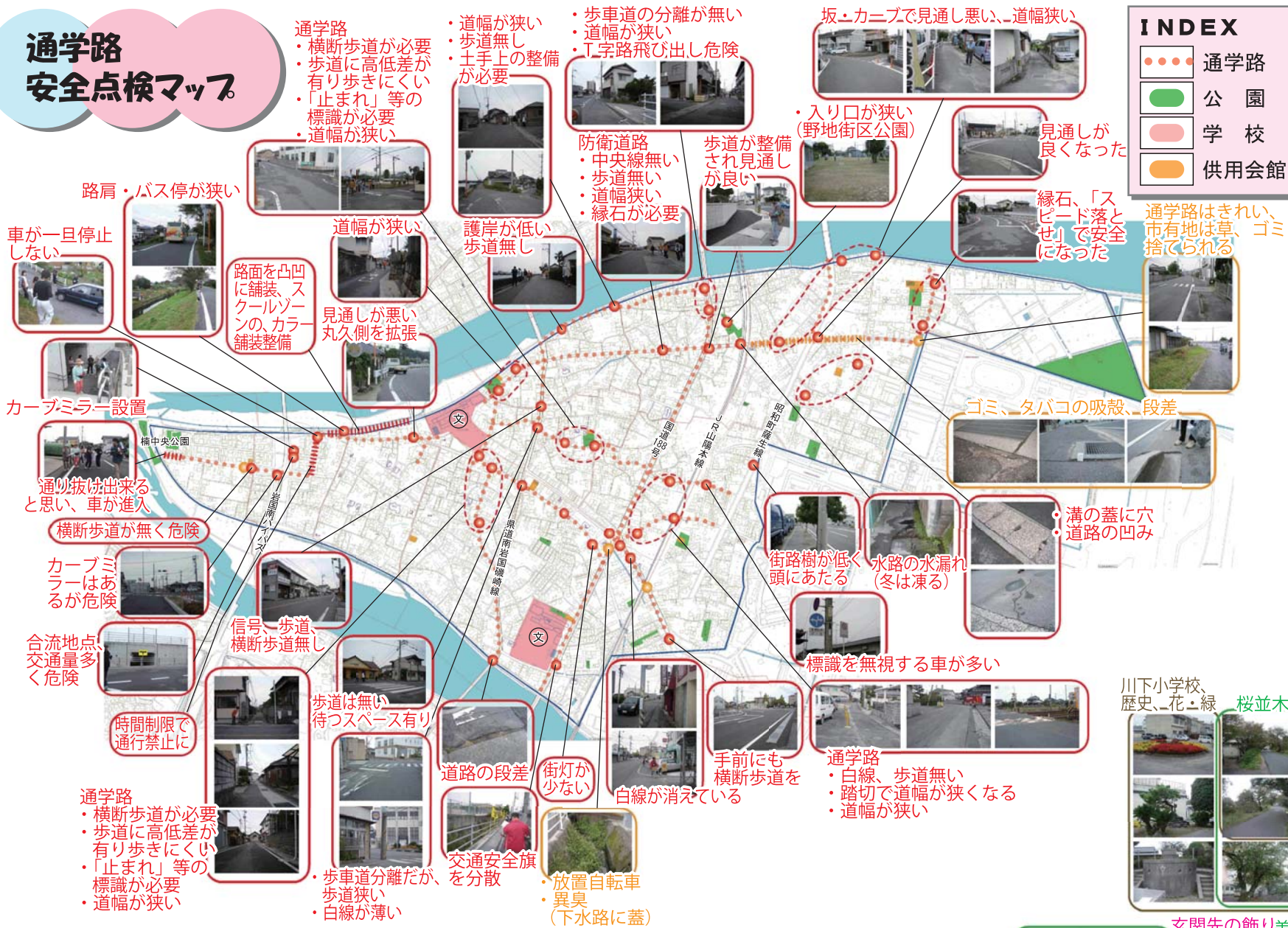
岩国市今津町1-14-51

電話：0827(29)5161 FAX：0827(24)4207

E-mail：toshikei@city.iwakuni.yamaguchi.jp



通学路安全点検マップ



歩道について

通学路の大部分は、歩道を付けられる程広くなかったり、広くても未整備だったり、安全面では十分ではないようです。狭い道は通行に細心の注意が必要となりますが、そのような車の通行量が少なくスピードが出せない道よりも、むしろ県道や防衛道路のように通勤等の車の多い、歩道の無い幹線道路に危険性を強く感じました。また、川下支所前の交差点のように、子供たちが信号待ちをするスペースが狭い横断歩道も見受けられ、危険性の高い箇所の早急な安全対策が望まれます。

ようやく開通した南バイパス。しかし...

岩国南バイパスへ上る車、下りる車で、地域の交通量は確実に増え、危険が増えています。土手上の道と南バイパスとを結ぶために設けられた道は、ぐるっと回って通らなければならないと分りにくく、狭かったり見通しの悪い所もあり、車で通るときには神経を使います。

人に優しい道づくりを

破壊して段差や凹みができている箇所がいくつか見つかりました。速やかな修復を望みます。(最近までベビーカーを押して歩いていたので、特にそう思います)。しかし、歩道の切れ目などで、始めから段差が設けられているのは、無くして平らにできないのでしょうか？車椅子の方にも快適な道づくりを進めて欲しいと思います。

路地について

川下には昔ながらの細い路地がたくさん残っていて、通学路の一部にもそうした路地が含まれています。緊急車両が入れない、交差点の見通しが悪い、夜間暗い所があるなどの解消しなければならぬ問題点はあるようですが、車が入れないので、子供達やお年寄りにとってはかえって安全な「歩行者専用道路」となっているとも言えます。整備の仕方によっては、道沿いの庭の緑を楽しみながら安心して散策できる、少しノスタルジックで魅力的なまちづくりが出来る可能性を秘めているように思いました。

川下にあった中世の遺跡

史跡のひとつである加陽(かや)和泉守の館跡(約430年前)を取り囲む土壁は、山口市にある大内氏の館跡の土壁以上に大規模なもので、我が国でも最大級のものであります。川下地区の文化財として誇りに値する物であり大切に守ることが必要です。中世の城跡は自然の地形を利用した築城がほとんどであり、平地に築城された方形館は、県内においても館が確認されておりその中で最大のものであります。

みなさん神社めぐりをしませんか？

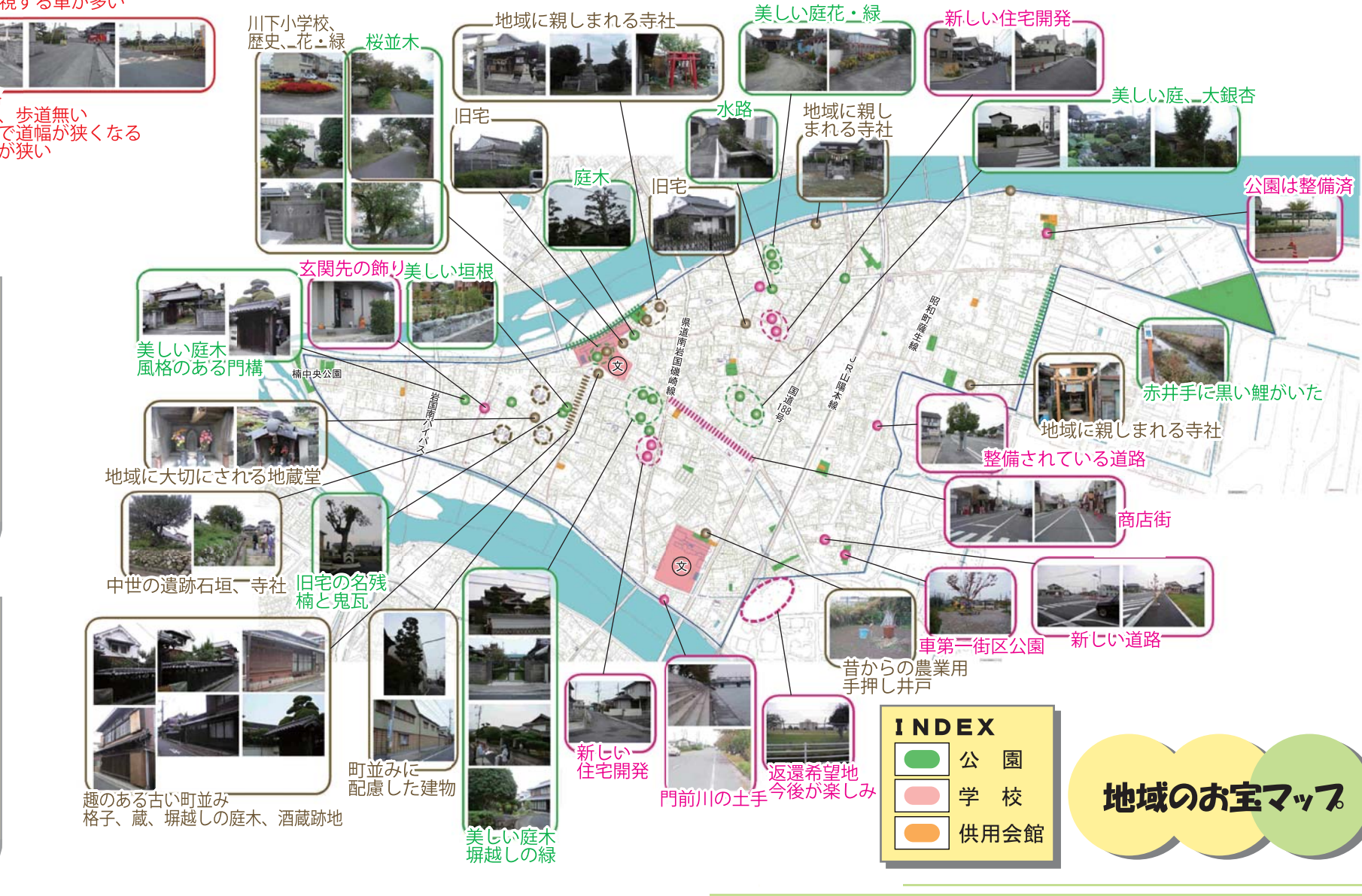
川下地区にも地域に親しまれる神社があります。中でも川下一丁目の大蔵神社は、神社本庁登録のひとつです。毎年秋祭では神楽舞があり、子供の相撲大会も催されています。30~40年前頃には神社周辺に出店が出て、結構な賑わいをみせていました。最近市内の企業の安全祈願祭も当社で行われています。また、地域に親しまれている神社は、連帆地区等にありま。

旧宅と庭

中津地区には、かつて川下地区の商業の中心地であったことを偲ばせる古い商家が残っています。車が通るには狭すぎる道の両側に、手入れの行き届いた庭木や生垣、大きな瓦屋根と白壁の土蔵を発見しました。

公園

車第一街区公園は、川下地区に新しく出来たモデル的な公園です。車椅子でも利用できる水洗トイレを備えており、木陰や水飲み場もあり、気持ちよく憩える場所です。いつも美しく保つには、地域の人々の大切に思う気持ちが不可欠と感じました。



地域のお宝マップ